

IV 事業概要

5 情報ネットワーク・広報・出版

(1) コンピュータシステム

①概要

当館における利用者向けのコンピュータシステムは、主に次の3つの用途が挙げられる。

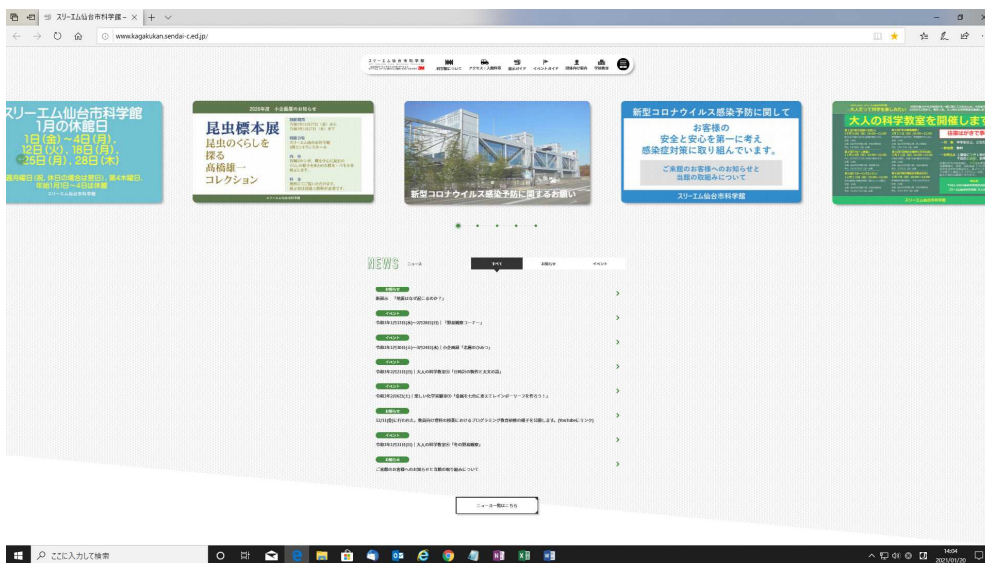
- (ア) インターネットによるデータベースサービスおよびインフォメーションサービス
- (イ) 中学生を対象とした実験指導への利用（学校教育事業）
- (ウ) 一般向けの開放講座等への利用（生涯学習事業）

②インターネットによるサービス

平成8年に開設した当館のホームページは、必要な情報を随時更新できる体制を整備し、事業展開上の重要な情報媒体として機能している。

主なコンテンツは、科学館の事業を紹介するインフォメーションサービスの他、蒲生レポート、小・中学生向け学習動画やおうちでチャレンジ・ラボなどの動画配信など、一般の利用はもちろん、小・中学校を中心とした学校教育の場での活用を視野に入れた構成としている。

令和2年11月に科学館ホームページのトップ画面を含む修正を行った。



③ネットワークシステム

館内のネットワークは、展示系、実験室系、業務・管理系、に大別され、独自のファイアーウォールによってセキュリティーを確保するとともに、幹線が破断した場合に備えた二重化が図られている。また、館内ネットワークの回線速度は、1Gbpsの光ファイバーを幹線とし、館内のどの端末においても100Mbpsを確保している。



展示系は主に一般来館者が使用するシステムである。スタンド式タブレット端末（8台）を使用して、展示物に関するクイズに答えていく“スマホでクイズ”や、科学館学習の展示学習で、生徒一人に一台のタブレット端末を貸出して活動できるよう165台のタブレット端末を整備している。そのタブレットに、展示物に関する問題を表示させて自動採点できるようにしている。令和5年度は、4階のリニューアル工事に伴い、タブレット端末を利用した展示学習を休止した。



主に学校教育や生涯学習事業で活用する実験室系のシステムは、4つの実験室それぞれにおけるサーバ・クライアントシステムを確立させ、複数の端末を利用する各種実験プログラムをサーバ機で一括管理できる構成としている。



その他、仙台市の教育情報ネットワーク“edu-net”にも接続している。

④館内公衆 Wi-Fi

平成29年7月に Sendai Free Wi-Fi を導入し来館者が無料でインターネットにアクセスできる環境を提供している。平成30年の特別展「恐竜最前線」では、Wi-Fiを活用してタブレット操作体験を行い、令和4年の特別展「くらべる図鑑展」では、Wi-Fiを活用してAR体験を行った。

IV 事業概要

5 情報ネットワーク・広報・出版

(2) 広報

仙台市科学館では、市民への学びへの関心を高め、より多くの市民が学びの活動に参加できるようにするため、科学館における各種事業などについて、市政だよりなどの広報紙やホームページ、イベント用ポスター、チラシ等、科学雑誌へのイベント情報掲載を用いて幅広く情報提供を行っている。

① 仙台市科学館ホームページ

市民に学びの機会を発信するため、科学館で開催されるイベントを市民に紹介し、参加を促すとともに、市民の科学に関する疑問を解消に導けるよう、実験・学習動画を科学館ホームページに掲載している。

② エントランスホール イベント案内

エントランスホールにおいて、科学館で行われる予定のイベントを掲示し、各月開催のイベントと申込締切日等、詳細内容を広く市民に紹介している。この掲示でイベントの存在を知った方も多く、イベントに参加する市民も多い。令和元年度より、エントランスにデジタルサイネージを運用している。

③ その他

夏の特別展や、小企画展、イベント・教室などについて、市政だよりやフリーペーパーへの情報掲載、記者発表、当館で作成したポスターやリーフレットなどを利用して幅広く広報活動を行った。

また、テレビ、ラジオ、新聞等の取材にも積極的に応じ、様々なメディアを通して魅力ある科学館を伝える広報活動も行った。